

I 共同研究

共同研究は、継続プロジェクトが2件、新規プロジェクト2件で、研究終了後1年以内に『紀要』にその研究成果論文を発表する予定である。

2018年4月～2020年3月（共同研究A）

「AIがもたらす産業へのインパクト」

大槻 明（日本大学経済学部准教授）
米澤 聡士（日本大学経済学部教授）
江上 哲（日本大学経済学部教授）
坂野 徹（日本大学経済学部教授）
大澤 秀雄（日本大学経済学部特任教授）
井口 詩織（日本大学経済学部大学院生(博士課程)）

2018年4月～2020年3月（共同研究B）

「経済グローバリズムと文化・政治・制度における地域主義の対抗と調整」

根本志保子（日本大学経済学部教授）
金田 耕一（日本大学経済学部教授）
岸田 真（日本大学経済学部准教授）

2017年4月～2019年3月（共同研究A）

「規制の経済的効果に関する包括的な研究」

手塚広一郎（日本大学経済学部教授）
権 赫旭（日本大学経済学部教授）
竹中 康治（日本大学経済学部教授）
小林 信治（日本大学経済学部教授）
橋本 悟（帝京大学経済学部准教授）

2017年4月～2019年3月（共同研究B）

「光学産業における技術形成と生産構造の変容に関する実証研究」

山下 雄司（日本大学経済学部准教授）
沼田 郷（青森大学経営学部教授）

II 研究会

2018年度は、研究会を4回実施した。

203回 2018年7月26日

2016～2017年度共同研究B成果報告

「財ヴァインテージ別の貿易構造と経済厚生」

井尻 直彦（日本大学経済学部教授）
前野 高章（日本大学通信教育部准教授）

204回 2018年10月9日

「アメリカの政治的分極化と中間選挙」

田中 恭子（埼玉大学大学院人文社会科学研究科教授）

205回 2018年11月13日

「格差と成長－金融業界の様々な格差と成長への影響－」

栗谷 修輔（キャピタスコンサルティング株式会社
プリンシパル）

206回 2019年1月24日

2016～2017年度共同研究A成果報告

「金融危機に関する理論分析と実験的検証」

齋藤 哲哉（日本大学経済学部准教授）
有馬 守康（日本大学経済学部専任講師）

III 『経科研レポート』のWEB掲載

『経科研レポート』第44号を経済科学研究所のホームページに掲載した。

IV 経科研ワーキング・ペーパーの発行

2018年度は、以下のワーキング・ペーパーを発行した。

① No. 2018-01

「Distributional Properties of Corporate Profitability Measures: Evidence from Japan」

（執筆者：Ilfan Oh, Masahiro Ouchi）

② No. 2018-02

「小地域における福祉的機能を有する共同売店の維持可能性～経営環境に関する定量的な把握の試み～」

（執筆者：小巻 泰之）

※平成29年度若手研究者科研費応募支援プログラム
研究成果

③ No. 2018-03

「Self-employment as Occupational Choice in the Zhongyuan Rural Area」

（執筆者：Naoki Murakami）

V 2018年度経済科学研究所運営委員会

委員長 三井 秀俊
副委員長 小林 信治
委員 金谷 貞男, 渡邊 修士, 吉田 誠
幹事 桑田 志朗

以上